

Hyosung の Cho Hyun-Joon 会長、「アジャイル経営」でグローバルイノベーションを実現

- アジャイルな組織への変革を重視...水素、スマートファクトリーなどによるアジャイル経営の実現
- Cho Hyun-Joon 会長: 「企業が存続し、成長するためには、アジャイルな組織への変革が不可欠」

【ソウル（韓国）2023年8月29日 PR Newswire = 共同通信 JBN】Hyosung（暁星）グループの Cho Hyun-Joon 会長は、急速に進化する世界市場に適応するアジャイルな組織づくりに努めています。スピードと効率を重視した「Agile Management（アジャイル経営）」アプローチを採用し、来るべきニューノーマル時代をリードしています。

インタラクティブ・マルチチャンネル・ニュースリリースの全文はこちらから体験:

<https://www.multivu.com/players/English/9196251-hyosung-chairman-hyun-joon-cho-achieves-global-innovation-through-agile-management/>

Cho 氏は「変革の時代に企業が存続し、成功の機会を生み出すためには、アジャイルな組織に変革する必要があります」と強調しました。その上で「組織は、新しいテクノロジーやトレンドを迅速に獲得しながら機敏に運営する必要があります」と付言しました。

Cho 会長は各子会社の専門役員を中心とした独立した経営体制で運営しています。各子会社がそれぞれの製品と分野における専門知識を活用することで、迅速な意思決定を可能にし、後れをとることなく市場競争力を確保しています。

▽水素やスマートファクトリーなど新分野への「アジャイル」な参入

Cho 会長は「水素」と「スマートファクトリー」の分野でアジャイル経営を実践してきました。カーボンニュートラルの推進と再生可能エネルギーの拡大を図るため、液化水素および水素充電ステーションの事業を拡大するとともに、製造プロセスのイノベーションを推進するデジタル化された工場管理システムを確立しました。

Hyosung Heavy Industries は、世界的なガス・エンジニアリング会社である Linde plc と協力を進め、2023年までに蔚山に年間生産能力 1万 3000 トンの世界最大の液化水素プラントを建設する予定です。政府の大型商用水素自動車の普及政策によると、液化水素プラントの完成に合わせて、全国約 30 カ所に大型液化水素充填ステーションを建設する計画です。

アジャイル経営を実現するために、Hyosung は生産および運用システムに「Smart Factories（スマートファクトリー）」を導入しています。製造プロセスをデジタル化し、原材料の輸入から生産、出荷まで

のデータを収集、分析、管理しています。この技術は、2018年以降、韓国、中国、ベトナムを含む世界各地で実装されています。

Cho 会長は「Hyosung Way」と呼ばれる中核的価値体系によって社員を導き、アジャイル経営を実践しています。この体系は、グローバルな Hyosung を構築するために世界中のすべての Hyosung メンバーが遵守すべき思考と行動の基準として「Excellence（最高）」、「Innovation（革新）」、「Responsibility（責任）」、「Trust（信頼）」の4つの中核的価値を定めています。